



# 会報

## WEEKLY REPORT

世界に希望を生み出そう

2023-24 R.I.会長

ゴードン.R. マッキナリー

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/石岡 幸雄

副会長/萩原 敬一郎

幹事/南出 雅樹

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3109回 例会報告

2024.3.8

●例会日/金曜日 (12:30~13:30)  
●例会場/ホテル日航ノースランド帯広  
●事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

- 点鐘 石岡 幸雄 会長
- ロータリーソング (奉仕の理想)
- ゲスト紹介 石岡 幸雄 会長  
安部暁様 田中英昭様 山口良樹様  
長屋喜則様 手塚ジュンコ様
- 会食
- 会長挨拶 石岡 幸雄 会長

- 13:00 ~ 13:40 開会式
- 13:40 ~ 15:10 クラブ発表Part 1
- 15:20 ~ 16:50 クラブ発表Part 2
- 17:00 ~ 17:20 閉会式
- 17:40 ~ 19:10 懇親会

※全員登録となっております  
帯広北RC、3月29日(金)の繰り下げ例会と致します。

#### ■委員会報告

・岸本会員転勤の挨拶



皆さんこんにちは、会社の事例が出て転勤することとなりました。転勤先は島根県の松江になります。柴田会員の紹介で北RCに入会をさせていただき、2年間会員皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございます。後任も入会することになりますので引き続きよろしくお願いいたします。

・中島副幹事



来月14日、日曜日にここノースランドで地区研修協議会が開催されます。出席対象者は今月の13日水曜日までに出席の回答をお願いします。

#### ■ニコニコボックスの発表 萩原敬一郎 副会長

・転勤する気音になりました、2年間大変お世話になりました。

岸本会員

・本日担当プログラムですよろしくお願いいたします。

松岡会員

・寒い朝が続いています、健康に気を付けてください。

中島会員

・誕生日に記念品をいただき有難うございました。

松本会員

・妻の誕生日に記念品をいただき有難うございました。

柴田会員 石割会員 高田会員

#### ■プログラム

松岡 社会奉仕委員長



安部暁様「奉仕について」

事の始まりは、三年前に牛乳の無料配布を広瀬高周波会長の音頭で始まりました。



皆さんこんにちは。来週の例会は休みですが、その次の週の3月30日(土)に、この会場でIMが開催されます。IMとはインターシティーミーティング、日本語では都市連合会と呼ばれ、ロータリーを学び、親睦を図る会合です。2500地区では、分区分ごとに開催され、私達の第6分区では、十勝管内11クラブ、約400人近くの会員が集まります。IMを主幹するのは、田中ガバナー補佐を輩出している音更クラブで、昨年は北クラブが松原ガバナー補佐のもとへ、ベネズエラ大使を招いて開催いたしました。今年のIMは、講演会ではなく、11クラブ全てに、クラブ自慢を発表して頂くという要請がきています。当クラブでは、社会奉仕委員会の松岡委員長に、古着でポリオワクチンを寄付する事業を、青少年プログラム委員会の斎藤委員長に、大谷高校とのインターアクトの事業の報告をしてもらう予定です。

ちなみに、ガバナー補佐の役は、5年に1回まわってきます。当クラブは芽室クラブとジョイントクラブなので、どちらから輩出すればOKです。ガバナー補佐就任の条件は、会長経験者と聞いているので、当クラブでは、私を含めて9名の資格者がいます。芽室クラブは19年前の案内会員以来ガバナー補佐を輩出していないので、今回はお願いしたいと思っております。

以上で会長挨拶を終わります。

#### ■会務報告 南出 雅樹 幹事

帯広北RC、3月15日(金)の例会は休会と致します。

RI第2500地区第6分区【IM】開催のご案内

日時 3月30日(土)

場所 ホテル日航ノースランド帯広

12:30 ~ 13:00 登録受付



藤丸、駅、電信通り競馬場など、牛乳、チーズをセットに2000名分、ネットヨタの各店舗に2000名分、総数2トンを配りました。「もったいない、ほっとけない」をスローガンに、協賛業者50社、病院10件の協力のもと、長屋機工会長の長屋さん、大昭電気渡辺常務、ビジネスサポート三村社長と私で始めました。無事ミッション終了した時の達成感を今でも覚えています。

1月1日 午後4 能登半島地震発生。発生からテレビで状況を目にするようになります。テレビに釘づけてした。1月2日、いつものように会長からのお誘いで恒例の麻雀があり、広瀬会長が今回の地震どうする・・・ほっとけないよな。でも能登半島に来ないでとの報道がありました。釣り仲間の病院の先生から、七尾病院長から七尾までなら道路も問題無い事を聞きましたが、そこでは備蓄食品が少ない事や、入院患者200名が困っていると言う話を聞きました。会長と長屋さんとこの事で最終判断をし、またまた「ほっとけない」となり、七尾病院、避難所への支援物資を届けるミッションが始まりました。

以前の協賛業者さんに連絡しましたところやはり賛否両論があり、行かない選択もあるとの意見もありましたが、協賛20社が集まり、カレーやごはんパック1000食、無洗米100キロなどの買い出しを始めました。熱源社長からガス3本協賛をいただき、水400ℓのタンクを山内塗装様から2個借り、1月5日、12時に函館に向かってスタートしました。函館でホテルやスーパー銭湯をやっている友達の桜井社長も一緒に行く事となり、飲料メーカーから水、お茶を1000本の協賛頂き、青函フェリー乗り込み4時間、青森から七尾。七尾までの道のり850キロを交代してはすぐ寝るをくりかえし、1人200キロ交代で向かいました。猪苗代湖まわりです。雪道は私が担当し、事故だけを回避。いよいよ七尾近くなり支援物資のラミネート貼り付け作業をおこない、院長が言っていた通り、一般車両は高速道路を降ろされますが、私たちの車両はそのまま通過することができました。七尾近くなりましたら、屋根のブルーシートかかる家屋が多くなり、沢山の潰れた家々、瓦が押し潰した様子見て、瓦が原因と感じました。七尾病院長とスタッフにカレーと米200パック、無洗米50キロ、水200本を渡し・・・さてこれからどうするか。近くのコンビニで聞き取りをしているところ地元連合町内会長、高沢さんと出会いました。2か所の避難所を案内され、お湯を沸かし、お茶を沸かし、カレーとご飯パックを温めて配給をしました。残り400食、無洗米30キロ、お茶水400本。

避難所にて色々な事を知りました。自宅避難されている方、ペットが無いため車で避難を余儀なくされている方、高沢さんが実際の町内会の現状を見てほしいと話しされさっそく向かいました。地震直後に電気のブレーカーを100個落とした事、近くのコミュニティー

ハウスにお年寄りをリアカーで運んだ事などを知りました。この現状を知り、連合町内会長の高沢さんに残りの物資をすべて渡す事を決断しました。この時、中日新聞、能登新聞、記者と出会う・・・一度目の支援終了。帰りの道のりがとても長く感じました。七尾から帰り道・・・雪が降ってきた・・・この雪はやばい通行止めを心配しながら帰ってきました。

帯広に帰ってきてから、勝毎や道新の取材を受け詳しく説明。また連合町内会長からラインでお御礼の手紙を受け取りました。

新聞掲載から状況が変化。道新に支援物資のお願いと電話番号を載せると多数の反響がありました。あまりの反響に、仲間と話しをしているうちにもう一度行く事を決める。釣り仲間の田中設備の社長の協力のもと、協賛業者や支援者たち35名とグループラインを作り2回目の支援に向けて動き始めました。4トン車を提供していただき、大樹からシャケ15匹を大津組合長から支援を受けました。忠類の芦澤さんからジャガイモ100キロの支援、更別農家さん、中札内及川農場さん、幕別高校同窓会会長千葉先輩からジャガイモ100キロ、タマネギ100キロ、長芋等、坂本食品よりジンギスカン50キロなど、幕別地域より多くの援助を頂き大変助かりました。また、上士幌、士幌、音更からもジャガイモなど多くの支援物資が届きました。

今回のルートは、苫小牧から八戸。メンバーは私、田中さん、函館の桜井さん、アシスト千葉さん4名の2台で向かいました・・・この大量の支援物資どう渡すか。七尾市役所に連絡をしたところ、駅前丸亀製麺が2000食を食べさせるので混雑が予想されるため断られました。北国銀行に打診したところ駐車場の使用は土日なので許可がおりましたが、車30台ぐらいのスペースしかないとのことだったのでもう一度Googleで見直し。県道1号線が輪島、珠洲市の人達が通り道であり、そこにトヨペット七尾を見つけました・・・店舗前に中古車展示場・・・さっそくネットヨタ帯広、佐藤専務に電話をしました。高校からの50年の付き合いですので北海道担当のトヨタ担当員に電話をしてもらい、能登半島担当員に連絡、トヨペット七尾の副社長に連絡。七尾店長から電話をもらい是非使ってください、社員も使ってくださいとの事でした・・・完璧、良かった。

七尾から50キロ離れたところに宿泊地があり、高沢さんがうちに泊まれと言っていたいただきましたが迷惑をかけられません・・・朝7時出発、トヨペット8時到着。設置を桜井さん田中さんに任せて、市内にパンフレットを配り始めました。「トヨペット七尾店で北海道十勝食材支援します。」ガソリンスタンドに並んでいる人たち、ドンキホーテで買い物している人たちに手渡し、支援に来ていることを知らせました・・・感触、完璧・・・戻るとビックリ、もう30人も並んでいる、連合長町内





会が動いたなと感じました。トヨペットもお客様に電話してくれていました。この場所で全体70%を渡し、残りの物資をなんとか輪島市、珠洲市、穴水町、能登町にも渡したい。

看板2箇所設置。毎日トヨペット輪島店に行っている店長の乗用車に物資を積み込み珠洲市、穴水町、能登町のお客様に電話をかけ後日この店舗に取りに来てもらう様に依頼。

イモ、タマネギ、ジンギスカン、カップラーメン、シャケ、無洗米、オムツ、生理用品、おしり拭き。10時に始まり3時間の間に多くの人が集まりました。支援物資を受け取りに来た人が他の人に連絡し広がったのだと思いました。1人カレー1食、ジンギスカン500g、カップラーメン2食、イモ5個、タマネギ2個、3人家族がこのパターンにしました。6人家族には、このセット2個に無洗米5キロをつけ、鹿肉1キロをつけました。

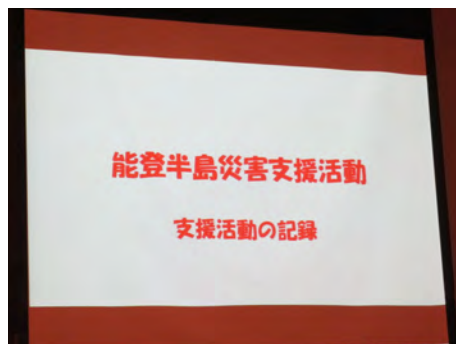
沢山の自宅避難者を見つけました。被害の写真なども見せてもらった。15人、シャケ1匹、鹿肉3キロ、無洗米10キロ、カップラーメン一箱、あつという間の時

間でした。終わった時へろへろになって町内会に寄りました。そこで食事をいただき助かりました。中日新聞記者、能登新聞記者の取材を受けました。その間和倉温泉桜井さんと田中さんで状況をビデオ取りしました。

残りの品物を確認し、オモチャ、ゲーム等の品物を届けるため、子供の居る所を市役所に確認をしていただき連絡を取ったところ、是非来て下さいとの事で、ジャガイモ、残りのオムツ、生理用品をすべて置きました。この避難所に400名が避難しており改めて大変だと感じる。

町内会の人達に最後の挨拶をかわし、落ち着いたら高沢さんと町内会の人でいずれ帯広に来る、また我々も七尾のお祭りにも来ると再会を約束しました。

やりきりました・・・達成感。夜7時、ホテル氷見に帰り物資も無く帰路に。翌朝から八戸に向かいました。一人200キロ、またまた長い・・・天気予報を見たら悪い・・・波も高い・・・やはり欠航。長屋さんに電話をかけ手配をしてもらい青森津軽海峡フェリー切り替え、無事に帯広に戻ってきました。



次週のプログラム予定

「休会」

閉会宣言

点鐘

石岡 幸雄 会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店 帯広南RC:北海道ホテル  
〈火曜日〉芽室RC:めむろーどセミナー 帯広東RC:ホテル日航ノースランド

〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド 上士幌RC:川村福祉会館 音更RC:ハビオ木野

〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21 清水RC:清水町中央公民館 帯広西RC:北海道ホテル

出席報告/長谷川道正 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メイクアップ	欠席	出席率
65		36			